

令和6年度第1回 大津市スポーツ推進審議会 議事録

令和7年2月6日(木) 14:00～15:30
スポーツステーションおおつ4階会議室

出席者

石井 智	びわこ成蹊スポーツ大学
平井 祐理	立命館大学
加藤 素子	大津男女共同参画推進団体連絡協議会
徳岡 明治	大津市自治連合会
田中 俊彦	大津市スポーツ少年団
廣瀬 文夫	大津市スポーツ推進委員協議会
酒人立 昌弘	大津市学区体育団体連絡協議会
中山 敦生	大津市スポーツ協会
北村 茂	大津市障害者スポーツ協会
平松 正人	滋賀銀行
道明 翔	公募

1 開 会

- ・事務局より、配布資料の確認
- ・過半数の委員の出席（委員11名中11名出席）により、本会議成立についての報告

2 部長挨拶

- ・市民部次長より挨拶

3 委員紹介

- ・事務局より、委員及び事務局員紹介
- ・過半数の委員の出席（委員11名中11名出席）により、本会議成立についての報告

4 会長挨拶

- ・会長よりご挨拶

5 議 事

- ・報告事項：大津市スポーツ推進計画の概要について
事務局より、資料1「大津市スポーツ推進計画 概要版」について説明

質疑なし

- ・審議事項：大津市スポーツ推進計画(改定版)実施計画(アクションプラン)の進捗について
事務局より、資料2, 資料3の見方について説明。以降、内容について方針ごとに説明
- ・大津市スポーツ推進計画(改定版)の計画期間延長について
事務局より、資料4について説明。

■基本方針1について

質疑応答

- 会 長：はい、それではただいま説明いただきました基本方針1につきまして、ご質問ご意見いかがでしょうか。
- 委 員：夏の対策、特に7月～9月の辺りであれば昨年も大会やイベントが中止になったりしています。熱中症への早急な対策が必要であり、次年度もまた今年と同じように猛暑となる可能性がありますので対応の検討をよろしくお願いします。
- 事 務 局：事務局よりお答えさせていただきます。対策につきましては、順次協議をしながら精査していきたいと思います。
- 会 長：ありがとうございます。その他、ご意見ございましたら随時よろしくお願いいたします。他にありませんでしょうか。それでは、一旦無いようなので、基本方針2についてご説明をお願いします。

■基本方針2について

質疑応答

- 会 長：ただいまの事務局の説明に対しまして、ご質問、ご意見いかがでしょうか。
- 委 員：ご説明いただきありがとうございます。部活動地域移行について、ソフトボール部と美術部を対象にモデル事業を実施いただいたということですが、このモデル事業を実施し、課題であったり、或いは今後の方針について、教えていただけないでしょうか。
- 事 務 局：事務局より回答させていただきます。部活動地域移行のソフトボール部につきましては、単一校で部活動は成り立たないため複数の学校から集まり、合同活動という形で実施されています。美術部につきましては、大津市の成安造形大学とタイアップさせていただき、各学校から希望者を募り大学へ出向いて技術的指導を受けたり、グループで作品を作製したりといった形をモデル事業として実施されています。その中で、参加された方々や保護者にアンケート等をとられたところ、単一の学校では活動しきれない具体的な技術指導が、複数校を応募することによって実施することができ、参加者よりすごく有意義なものであり今後も計画的、継続的に実施していただけるとありがたい、という声が多かったと聞いております。その中で、今後の展開についてもどのような形で進めていくのかという話も当然ありました。例えば、各学校の水泳事業では技術的指導ができる教員数が減っているという実情もあります。今後は、皇子が丘公園プールに希望者が集まり、大津市の水泳協会、スポーツ協会とタイアップし、地域移行に加えてスポーツ協会の力を借りながら進めていくモデル事業を検討していると、このように伺っております。以上です。
- 委 員：現状、別の地域で出ている課題としては、家庭への負担増が懸念されているのですが、そのあたりは解消されそうでしょうか。
- 事 務 局：はい、確かに違う学校に移動するという部分で、送迎する負担というものが発生しているのは事実でございます。ただ現時点のモデル事業実施の中では、その負担よりも、実施できたことの喜びが非常に子どもたちにとって大きかった、という保護者の声を聞いております。今後、広域的な部分を少し縮めての複数校での実施や、より近くの学校での実施についても課題として挙がっていました。このモデル事業を通じて、より良い実施方法を考えていくという状況でございます。
- 会 長：ありがとうございます。その他、ご意見ございますでしょうか。
- 副 会 長：よろしいですか。このスクリーンタイムが3時間以上と回答した割合が、大津市でも多かったという結果を示していただいているのですけれども、これはスクリーンタイムが増えた要因について、この調査で聞かれているのかという部分と、特に大津市で増えているということだと思えるのですけれども、何かその要因として考えられることがあれば教えていただきたいなと思いました。
- 事 務 局：はい。事務局より回答させていただきます。明確な要因について教育委員会の資料を読んだ限りでは、具体的な言及はありませんでした。ただ、全国的な話ではコロナ禍でのスクリーンタイムの増加が、小学生にも影響していると資料から読み取ることは可能であると考えま

す。

副会長：先ほど基本方針1の方で、委員の先生からもお話があったように、例えば、熱中症を懸念して外で遊ぶ機会が減っていることが家でデバイスを見ることの要因の一つとして考えられるのではないかと思います。仮にそういった要因であれば、安心して体を動かせるような場所を作っていくといったことに繋がっていくのかなと思い、ご質問させていただきました。以上です。

事務局：ありがとうございます。ご指摘いただきましたスクリーンタイムに係る内容と基本方針1、2に共通する熱中症への対応を加味したうえで、各事業を精査していきたいと思います。よろしくをお願いします。

会長：はい、ありがとうございます。もう1点、現状スクリーンタイムが増えるのはある程度仕方がないと考えています。ただ、TikTokやYouTubeには、指導のヒントになるような映像が発信されていたりします。運用に関する対策も当然必要ですが、例えば、地域のスポーツの指導者が動画を見ながら子どもたちと一緒に運動をしてみるといった活用、つまり一方的にスクリーンタイムがだめだというのではなく、我々自身がまず理解し、そして子どもたちと一緒に活用するといった流れも必要かと考えます。はい。以上です。これはあくまで意見です。他、いかがでしょうか。それでは次の基本方針3についてご説明をお願いします。

■基本方針3について

質疑応答

会長：ありがとうございます。それでは今の説明に対してご質問、ご意見ございましたらよろしくをお願いします。

委員：今のご説明の中で津市民体育大会の話が随分出てきましたが、津市スポーツ協会でもこの大会について、かなり協議をさせていただきました。今度、実行委員会をまた開催させていただきますので、スポーツ課の皆さんと共に、より良い大会にしたいと考えております。例年、参加人数も少なくなってきましたし、各学校からの参加も少なくなってきました。これはやはり、夏の暑い時期ですとか、競技種目もある程度考えていかなければいけないと委員の中でも意見が出ておりますので、今後も協議を重ね考えていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

会長：はい。ありがとうございます。他に、いかがでしょうか。

委員：今、津市内でのイベントというと、どうしても市民体育大会かなと思うのですが、どうしても参加しておられる方が、学区の体育振興会といった部分に限られてしまい、アナウンスが広まってないということもございます。一般公募も実施されているのですが、もうちょっと幅広い種目や参加方法の多様化を検証し、津に移住してこられた方でも、参加できるような仕組みづくりを検討するのも1つの方法かなと思います。はい。以上です。

会長：はい。ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

委員：地域の方でスポーツ振興を進めておるのですが、市民体育大会につきましては、やはり競技ですね。この4つの種目につきましては、専門の方がいらっしゃったら参加が誘導可能であると思います。ただ、やはりこれまで参加されていない方をどのように誘導するかが重要なので、今後、ご検討いただけますと幸いです。また、それぞれの競技種目からも要望が出ているのは、どの競技も実際の会場設定など苦労もあろうと思いますが、やはり開催時期を分散してもいいので、同日にしない方が健康面を考えたらうえでもよいのではとの意見が出ておりました。以上です。

会長：はいありがとうございます。他によろしいでしょうか。また最後にご意見いただければとおもいます。続いて、方針4スポーツを楽しむ環境の充実についてご説明をお願いします。

■基本方針4について

質疑応答

会長：はい、ありがとうございます。

この度、全国障害者スポーツ大会がありますが、よければ、ボランティア参加の観点からちょっとご意見いただければと思います。

委員：全国障害者スポーツ大会については、令和7年度に滋賀県で行われますのですが、私

自身は参加しないのですけれど、今までの全国選手団に関わって、一番肝心だと考えるのは、どのように選手を発掘し集めるかが、課題になっている段階です。5月に行われますプレ大会でも、競技によってはもう全然選手が集まらず、全国に比べると参加者が半分ぐらいしか集まっていないという状況でございます。周知の仕方というのが課題であると思っております。関係する県や、市の障害者スポーツ協会、それから各市の担当の方と協議をさせていただいているのですけれど、なかなかよい周知の方法が見つかりません。団体自体も、高齢化でなかなか若い人が発掘できない、というところが課題として上がっております。

会 長：はい、ありがとうございます。そうですね。解決しなきゃいけない問題です。例えば、大学の学生が400人ぐらいボランティアで大会へ行くのですが、彼らの活動として何が必要だとお考えですか。例えば、発信であるとか、交流であるとか、そういった活動が選手発掘に繋がるような気がするのですが、どうでしょうか。

委 員：障害者スポーツ大会については、マスコミも国自体もアスリートの考え方が強く、スポーツ大会みたいな感じになってしまう。正直、ハードルが高い。ただ私としては、特に障害者スポーツについては、競技性だけでなく障害者の社会参画といった色々な目的もあり、なんとかその趣旨に沿ってPRをしたいと思っておりますのですけれど、なかなか。どうしても、アスリートの考え方が圧倒的ですので、それはそれとしてわかるのですけれど、もう少し運営側にも障害者スポーツの競技性以外の側面をとらえていただければ、障害者も参加しやすいのではないかと思います。

会 長：そういう意味では本来、学生が大挙して研修の一環で障スポのボランティアに行かせてもらうのですが、さきほど委員がおっしゃったような、理解が不足しているところをうまく学生にも理解してもらい、具体的に発信というような。なかなか届かない情報をうまく開催までに教えなければと思うのですがいかがでしょうか。

事務局：そうですね。先催市で、国民スポーツ大会を経験し、そのあとに全国障害者スポーツ大会を経験した行政担当者に聞いたことがあるのですが、国民スポーツ大会と全国障害者スポーツ大会は、全然違うのだと。県が主導し、市は動員で係員として行くのですけれども全国障害者スポーツ大会をアスリートの大会としてとらえて、サポートするといった側面だけでは全然だめだ、というところを後で気づいたと。実施前に、そういう部分をもう少し勉強していけばよかったと。今、会長がおっしゃったように、選手ファースト、サービスファーストの観点が国スポと障スポは全く違うところを、私たちはもう少し勉強する必要がある。ただ、どう意識すべきかの具体は今ないので、そういう意識は、やはり持って動かさなければならぬと思っています。

会 長：そうですね。なので、よく関係団体とコミュニケーションをとっていただき、2つの違うモデルとして進めなければ、と思います。はい。他にいかがでしょうか。はい。よろしいでしょうか。それでは最後ですね、基本方針5についてお願いします。

■基本方針5について

質疑応答

会 長：はい。ありがとうございます。

それではただいまの津市の特徴を活かしたスポーツに関し、ご質問ご意見ございますでしょうか。

委 員：地元企業を代表いたしまして一言だけお願いといいますか。私ども地元企業としましては、女子バスケットボールのチームを持っております。女子バスケットボール以外では、来週から冬の国スポで、一名スキーの選手として、私どもの職員が派遣いただくことになっております。特に今年は県内での国スポということでして、私ども職員も一同を上げて、機運を高めていきたいと思っておりますので、ぜひ今後の連携もよろしくお願いいたします。以上です。

会 長：はい。ありがとうございます。他に、いかがでしょうか。

委 員：これまで、まず、基本方針に、関連する事業の評価は、ほとんどが「概ね計画どおりに進んでいる」、「計画通り進んでいる」という評価ですが、この評価と同時に、きっと課題があると思うのです。やはり、課題解決に向けた取り組みをしていかないと、環境整備は進まないように思いますので、評価とあわせて、課題点があれば、またお聞かせいただきたいです。

事務局：事務局より回答させていただきます。各課のそれぞれの事業では「計画通り進んでいる」「概

ね計画通り」ですが、当然ながらコロナ禍の後の回復傾向の途中でもあり、全体としての目標値が達成していない状況が、何よりも課題と考えております。よって、目標値を達成していくために、それぞれ課の中で現状の取り組みとともに、対応していくように市として努めていきたいと考えております。

委員：地域のスポーツに関する参加の度合いが、私どもの学区にあっては如実にできています。昨年、10月の第一日曜にありました学区の運動会もそうなのですが、16の自治会のうち、2つの自治会がもう参加をしないという決定を下しました。参加している自治会でも、以前に比べたら、参加者が少ないです。昨年で73回目実施してきましたが、年々参加者が減ってくるとなると、参加者を増やすための環境整備も地域で考えていかなければならない。しかし、地域だけの取り組みとなると、学区のスポーツ協会や体育委員の負担も増えますので、やっぱり地域ぐるみのスポーツに関しては、参加してもらえるように取り組んでいくことが重要なことではないかと思いました。今年は、そうやって見つけ出した地域の課題を、何とか乗り越えていけたらと考えています。

会長：問題は、参加人数の減少でしょうか、それとも少子高齢化でしょうか。

委員：ひとつは、競技の種目が10年前、20年前とあまり変わってないことです。だから、高齢者の人口が増えている中では、高齢者が参加できるような競技を増やして欲しいなど。これは再三、お願いしてはいるのですが、なかなか難しいようでして。主催は、一応学区のスポーツ協会で、運営する人も含めてできれば高齢者の参加を促して欲しいのです。家に閉じこもっている1人世帯、2人世帯の高齢世代も多いので、その人達を何とか引っ張り出せるように、いろいろ考えているのですが。なかなかちょっと。

委員：私どもの方も多い人口ではないのですが、運動会を開催しました。3つの自治会がどうしても参加ができませんでした。理由としては、高齢も含めて選手が集まらなかったということで、辞退をされました。競技種目につきましても、リレーや綱引きといった今まで当たり前に町内対抗で実施していた競技ができなくなってきました。よって、おっしゃっていたように、高齢者の方でも参加できるように、町内対抗ではなくそれぞれの町で運動ブースを作って、いわゆる、町内で得点の入る種目と、そうではないオープンスポーツができる内容を盛り込んでいかないと、運動会自体が最近成り立ってこないような状況にはなってきました。よって、我々も高齢の方に参加していただくために、運動会の実行委員会をつくって検討しているところです。以上です。

会長：はい。ありがとうございます。運動会という形式にこだわらなくてもいいのかもしれませんが。目的は、地域の人たちが運動することができ、そこに企業や自治体も含めて、また例えば大学生、成安造形大学にはデザインの先生もいらっしゃるでしょうし、立命館大学の優秀な学生さんにも参加いただくとか、そういうオープンというか、何か変化を起こしていかないと同じようなことをするのは今後無理があります。これはまた課題として、検討していかなければと思います。他に、いかがでしょうか。

委員：お話を聞いていると納得する話ばかりなのですが、私自身の学区でも、今年まではできても来年から運動会の形態が変わるとかお聞きして、もう本当に高齢化で、皆さんとどこも悩みは一緒なのですが、スポーツって見て楽しく、参加しても楽しく、よかったって思えるものじゃないといけなかなと私自身も思いますし、種目も皆さんおっしゃっていたみたいない感じで、変えていくっていうことが必要だと感じました。私自身もボッチャに二、三回参加する機会がありまして、とても楽しいスポーツだと認識しました。たくさんの人にもしてほしいなと思いました。

会長：ありがとうございます。すばらしい気付きだと思います。スポーツというのは、やっぱり楽しい。そして、これまでのスポーツだけではなく、ニュースポーツという考え方もありますので、知恵を出し合ってできればと思います。他にいかがでしょうか。はい。基本方針5だけでなく、他の基本方針についてもいかがですか。最後に皆さんにご意見というか、評価をしゃべっていただく時間もありますので、よろしいですか。はい、それでは他にご意見がないようですので、お諮りいたします。大津市スポーツ推進計画改訂版実施計画アクションプラン、令和5年度、事業評価について本日いただいた意見を、事務局にて取りまとめさせていただきます。評価、提案の確認については、会長副会長に一任ということで賛成いただける方は挙手をお願いします。いかがでしょうか。

一 同：(一同挙手)

会 長：全員挙手をいただきました。ありがとうございます。それでは、そのように進めさせていただきます。次に審議事項であります、大津市スポーツ推進計画改訂版の延長について事務局の説明を求めます。

■計画延長について

質疑応答

会 長：はい。ありがとうございます。ただいまのご説明につきまして、ご意見、ご質問ございませんでしょうか。ご質問等ないようですのでお諮りいたします。大津市スポーツ推進計画改訂版の延長について賛成いただける方は挙手をお願いします。

一 同：（一同挙手）

会 長：ありがとうございます。全員挙手をいただきました。

■総括その他：大津市のスポーツについて、意見交換

ご発言等

会 長：では、これにて審議事項を終わらせていただきますけれども、最後に、大津市のスポーツ全般に関する意見交換を行いたいと存じます。日頃感じておられることなど、皆様に一言ずつ順番にご意見をいただき、最後副会長に総括をしていただきます。よろしくお願いします。

委 員：本日はありがとうございました。国スポも、今年開催されるということで、本当に、国スポの看板であったりとか、いろいろな媒体で見たり聞いたりする機会が増えています。その効果もあり、皆さんのスポーツに対する関心が確実に高まってきているとは思っております。あとはこの告知の仕方次第で、興味関心がより高まれば、本日の課題でもあったボランティアの方々も増えていると思います。ボランティアの方を増やそうと思うと、やはりそのメリットを感じないと、なかなか実施されない。そういった意味では、直近でも現行道路が陥没したりと災害が起こっているので、ボランティア活動が災害時のサポートにも適用できる側面をアピールしたり、あとは部分的にSNSでの拡散も許可して、若い方にどんどん参加してもらおう。或いは、ボランティアのモデルを作ってそういった方々が、ボランティアの経験を通して、例えば就活でのPRに役立てたりといったメリットを発信できれば、よりたくさんの方に参加してもらえてなおかつスポーツ自体も活性化していくのではないかと思います。今後も、さらに盛り上げていけるように私自身も尽力していきたいと思います。本日は、ありがとうございました。

委 員：今年度から審議会のメンバーとして参加させていただきました。今、ボランティアについてのお話もありましたけれど、最近ではボランティアといっても、有償ボランティアが取り上げられたりします。ただ、有償・無償問わず人権問題への意識の向け方は必要なことかと思っています。障害者に対する法律もいろいろ整備されてきましたけれども、まだまだ差別的な考え方もあります。よって、スポーツを通じてそういった部分を解消していただければありがたいと思っております。また、オリンピック競技はもちろん、障害者の方も様々なスポーツを行っております。同じ競技でもルールが若干違ったり、また障害者スポーツ独自の競技もあります。先ほど、話題にもあがったボッチャも完全な障害者用の競技です。ニューススポーツも含めた競技を通じて、様々なことを学びたいと思っている障害者もありますし、社会参加が大きな目標でもあります。地元の運動会でも障害者の方は、なかなか参加しておられないと思うので、やはりそういう部分も十分に考えていただければありがたいと思っております。今日はどうもありがとうございました。

委 員：本日はありがとうございました。私ども学区体育団体という立場で、日頃より住民の皆様にスポーツをしていただき、健康を増進するという目的で活動させてもらっております。今回の審議会でも取り上げられたように、やはりまず、子どもが少なくなってきました。スポーツ少年団も、活動がどうしても縮小して参りました。ただ、スポーツ少年団に入ってくだった子ども達が大きくなって、また、いずれ指導者として帰ってきてくださっています。そういう時代を通じて、何とか地域の方も活性化していけたらと考えております。もちろん高齢者の方につきましては、先ほども紹介しましたボッチャ大会やグラウンドゴルフ大会へ参加していただけるよう事業を進めてきております。また、皆さんにもそれぞれの活動にご協力いただければと思います。よろしくお願いします。

委 員：本日、本当にありがとうございました。今、スポーツ少年団の話をしていただいたのですが、

私自身大津市のスポーツ少年団の事務局で活動しており、少し異なった見解を持っております。大津市においては、先般 11 月なのですけれども、スポーツフェスタということやっています、大体、子ども 1,000 人以上、親 1,000 人以上の総じて 2,000 人ぐらいの大会なのですが、当然国スポ・障スポ大会局であったり、スポーツ課に協力いただき実施しております。具体的には、ギネスに挑戦ということで、10 種類ぐらいの種目、種目というのは専門種目じゃなくて、垂直跳びや立ち幅跳び、50m 走やラグビーゴルフといった常に参加者が多い野球やサッカー、バレー以外のことをしております。対抗戦で行うのですけれども、子ども達がすごく必死に取り組んでいます。もう、目を輝かせて記録に挑戦してくれて、すごく子どもの圧を感じ取れる大会です。また、そこでみんなで 1 つの輪になって「国スポ・障スポおおつ」という PR を、もう全員が何回も練習して振付を合わせて行いました。そこでは、子どもと親にものすごく充実感を感じて、喜んでもらえました。そういった一体感の醸成が国スポ・障スポでは可能である一方、終わってしまうと、今後何かやろうというときに、また単独のスポーツ活動に戻ってしまう悲しさもあります。ですから、いろいろなイベントを継続的に、実際は大変だと思うのですけれども、実施してもらえるとありがたいです。また、今、大阪の方で万博が開かれますけれども、万博の認知を高めるために、各小学校の課題や校外学習で人数を集めるようなことをしているわけじゃないですか。例えば大津市でも、小学校の課外授業のような教育の場での国スポ・障スポの認知を高める取り組みなどはあまりないのでしょうか。

事務局：国スポ・障スポについては、順次学校と調整してご参加いただけるように調整しております、なかなか通常の授業などもありますので、そこを割いてというところは、課題ではありますが、一定ご参加いただけるように、ということのご案内はさせていただきます。

委員：子どもを引っ張ることによって、親もたくさん参加するといった相乗効果もあるかと思います。常日頃は、子どもの輝く目を見ながら指導にあたっておりますが、また、いろんな各種団体の皆さん、今団体は予算的にもしんどいところありますけれども、いろいろな場面でまたご協力いただければと思いますので、よろしく願いいたします。ありがとうございました。

委員：今日は、ありがとうございました。個人的にもとても勉強になりましたし、先ほども申しましたように、楽しく運動している姿を見て、参加して、活動を広げていただきたいと思います。また、皆さんがおっしゃっていたように、継続は力なりっていうことですので、細々でも続いていくことを願っております。

委員：はい。どうもありがとうございます。私どもの学区は、8,500 人程の人口しかおりませんし、活動もだんだんと少なくなっているような状況です。きっと、どの学区についても、そういった低下傾向が続いているとは思っているのですけれども、ちょうど 5 年前から、地域の課題解決に向けた取り組みをさせていただいています。小さな成功体験をもとに、大きな課題でも現在挑戦しているところです。やっぱり地域のスポーツの盛り上がりというのは、地域力を高めるためには欠かせないものだと考えております。10 年前、20 年前と同様の、これまで通りの対応では、もう歯が立たないような局面に来ていると思いますし、これからは、もう真逆の対応で考えていかないと、継続できないのではないかと思います。せめて、どこかで止めないとだめだと思っておりますので、地域でできる先ほど申し上げましたような環境整備、具体的には参加をするにあたっての簡易な登録手続きも含めて、今年はいろいろと課題を洗い出した上で、地域の皆さんにスポーツに関心をもっと持っていただけるよう、取り組んでいきたいと考えております。もしかしたら、結構、盛り上がることに繋がるかもと個人的にはちょっと楽しみにしているところです。また、皆さんにもご協力いただければと思いますのでどうぞよろしくお願い致します。今日はありがとうございました。

委員：私自身、スポーツ推進委員として 12、13 年ぐらいやってきているのですけれど、1 年間の事業計画として、出張で教える事業や、ボッチャ、スリースマイルゴルフ、ビーチバレー、さらには、ぐるっとウォークの裏方と、いろいろ参加してきたのですが、結局継続が大事です。継続することによって、初めの頃より参加人数が少しずつ増えています。その年の天候の状態によって変更がありますけれども。また、推進員としては、特に今年国スポ・障スポがあり、デモンストレーション競技では、スポーツ推進委員として実施するスリースマイルゴルフ、それにスポーツ協会が実施するラジオ体操第 3、さらには、スポーツ拳法と小倉百

人一首競技かるたの全部で4つあるわけですが、これらが実施されます。できるだけ頑張っ
て、一人でも二人でも多く知ってもらえることを願ってやっていきたいと思っております。
以上です。

委員：本日はありがとうございました。先ほど、学校の運動会の話も出ていましたが、それぞれの
学校のプログラムや表紙を見ていると、最近はどここ学区市民体育大会というよりも、
スポーツフェスティバルといった名称で、ニュースポーツを中心に実施している運動会が増
えてきたように思います。皆が楽しめるようにフードトラックなどの業者を呼んで実施され
ています。今後は、こういった催しが増えていくのですかね。あと、市民体育大会はやっぱ
り大津市のスポーツ協会を中心に、スポーツ課などと一緒になって考えていく大会なんです
が、先ほども申し上げましたように種目や参加していただける方々の事を考えまして、十分
に検討していきたいと思います。それと、国スポ・障スポ、いよいよ今年なのですけど、
私も専門委員会の方に参加させていただき、いろいろ話を聞いていますし、個人的にも、フ
ェンシング、体操のボランティアで参加させていただき盛り上がっていくことを期待してお
ります。どうもありがとうございました。

委員：どうもありがとうございました。審議会資料の中でも出ておりますけれども、余暇の充実や
心身の健康とスポーツは非常に重要な要素だと思っております。今回、初めてこの審議会に
参加させていただきまして、大津市でもいろいろ取り組みをされており、目標に対しても、
数字も芳しくないところもあるかなと思うのですけれども、私ども、大津市に本店を置かせ
てもらっている企業といたしまして、少なくともグループの役職員につきましては、運動習
慣が少しでもつくように発信していきたいと思っておりますし、また地域にもよい影響が与
えられるような行動をこれからもしていきたいと思っておりますので、ぜひよろしくお願い
いたします。ありがとうございました。

副会長：はい、本日はありがとうございました。全体を通してというところで1つご提案をさせてい
ただきたいのですけれども、情報発信のところで、広報誌といったオールドメディアだけで
なく、SNSであればフォローしている人に向けての発信であったり、ホームページであれ
ば訪れた人向けの発信であったりと、情報が行き届かない性質のものであると思います。よ
って、これからはもっとこれまでスポーツに興味がなかった方にも、情報発信をしていく必
要があると思います。そういった部分も踏まえて、情報発信の仕方をもう少し考えていただ
けると嬉しいかなと思いました。というのも私は、数年前に滋賀県へ引っ越してきたばかり
なのですけれども、今回、この委員も初めてさせていただいて、たくさん事業をされてい
るのになかなか私自身も知らなかったっていうところが、一市民としても、どうしたら知る
ことができるかということを考えておりました。それも含めて今回、各大会でも参加者が減
ってきていることが課題として上がっていましたので、やはり情報発信の仕方についても議
論を深めていく必要があると思いました。石井先生からのまとめということでいただいたの
ですけれども、皆さんのお話を伺っていて、いろいろな運動会やイベントを継続していくこ
とはすごく大事なのかなと感じました。一方で少子高齢化であったり、熱中症の問題、あと
スポーツ以外にもっと楽しいことが増えてきている中で、環境の変化や時代の流れに合わせ
て、良い所は残しつつ、柔軟に変化しながらスポーツを盛り上げていけるといいなと感じま
した。特に今年は、国スポ・障スポもありますので、市民の方々のスポーツへの関心をより
高めて盛り上げていければいいのかなと思いました。引き続きまたご議論させていただけれ
ばと思います。本日はありがとうございました。

会長：ありがとうございました。生涯スポーツの推進について少し付け加えますと、ブランチ大津
京のような施設では、買い物だけでなく様々な催しと一緒に実施できるので私もよく行
くのですけれども、そこで、実は調査を実施したことがあります。その中で、スポーツをす
ることは少し抵抗があっても、買い物のついでにスポーツできたらどうか、という仮説を立
てて体力測定を実施しました。結構ハードなものを実施したのですが、親子或いは3世代
の方々に参加いただきました。アンケートを取ったのですが、3世代あるいは家族で一緒
にできるというのがすごく楽しいと、ウェルビーイングに繋がっていくという結果が出
ました。よって、スポーツ自体を目的にするというのも一つですが、例えば買い物ついで
にスポーツができる、単体ではなく団体で、家族で参加できるといった環境が生活環境
の中にあれば良いのではないかと思います。今年から副会長に参加させていただいて、先
生は経営学の博士でマネジメントやイノベーション、その辺が当然ご専門であります
ので、そういう知見も今後生かしていただければと思っております。よろしくお願いします。
ありがとうございました。

ざいました。今年度の審議会開催は、今回のみの実施となります。委員の皆様には、来年度も引き続きご協力をお願いいたします。これで、本日の議事を終わらせていただきます。長時間にわたりご協議いただき、また、円滑な議事運営にご協力賜りありがとうございました。それでは進行を事務局にお返しします。

6. 閉 会

- ・事務局より事務連絡